明るい未来を目指して。福井新・時代

進化と継

福井県議会議員

# 笹原修之NEWS

2023. み な ठं 政に届けます ŧ の声

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと喜び 申し上げます。また、日頃より県議会活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

福井県議会では、新型コロナウイルスや物価高騰、また北陸新幹線福井開業や敦賀以西の延伸、 国土強靭化に向けた取り組み、商工業や農林水産業における経済支援、原子力行政から福祉全般に 至るまで、山積する課題解決に向けて精一杯取り組んでおります。

また、あわら市におきましても、国道8号の4車線化に向けた要望や北潟湖周辺の地盤対策、観光 振興に向けた取り組みなど、皆様の安心安全で豊かな生活を守るために、県政に声を届けているとこ ろでございます。

本年も、皆様と共にあわら市の明るい未来と「福井新・時代」に向けて全力を尽くしてまいりますので、 今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 7/1/

## 私が所属する総務教育常任委員会の主なテーマ

#### 地域戦略部 北陸新幹線敦賀以西の着工に向けて

・年末の政府予算案決定に向けた国の動向及び今後の対応

## 地域戦略部 ∠ 地域公共交通の維持・活性化

- ・地域鉄道支援「社会資本整備総合交付金」等を活用した活性化
- バスと鉄道のキャッシュレスの連動性
- ・JR小浜線の新型観光列車の定期運行に対する県の取組み

## 地域戦略部 ◎፡፡③ 福井県国土強靭化地域計画

大雨災害等を踏まえた改定方針

#### 地域戦略部 ┆ 福井県水道広域化推進プラン

- ・水道ビジョン、水道基盤強化計画の策定に向けた現状と課題
- ・県が果たす役割について(市町等との役割分担)

## 」 地域戦略部 ⑤5 福井県県民社会貢献活動推進計画(改訂版)

・年代に応じたボランティア人材の確保、マッチング策

## 大胆な財政出動と健全な財政運営

- ・大型公共施設の新築・増築に関する現在の物価高騰が与える影響
- ・地方創生臨時交付金の執行状況と効果の公表

## 教育委員会 ◎◎ 不登校対策

- ・過去10年で最多となった背景と要因および対策の方針
- ・校内及び校外のフリースクールの現状と課題

## 教育委員会 学校現場におけるDX推進

- ・ICT活用の進捗状況と課題(教員のICTスキル及び家庭学習の促進策)
- ・ICTを活用することによる効果(教育面・教員の業務改善



## 総務部

## ∪◎ 大学を核とした産学官医金連携による人材育成

・デジタル人材の確保【学生教育、社会人教育(リカレント、リスキリング)】 ・健康福祉部や産業労働部等との部局間連携のための推進体制

## MaaS (Mobility as a Service) による観光戦略について

## Q. 笹原修之

鉄道・バス・タクシーなど複数の交通機関のサービスを 結び付ける「MaaS(マース)」は、「生活面」と「観光面」と では公共交通の役割が異なる為、2軸で使い分ける必要 があると考えますが、県の所見を伺います。

## Q\_ 笹原 修之

嶺北11市町や民間事業者等による「ふくいMaaS協議会」が設立されましたが、北陸新幹線開業に向けた二次交通の充実を図るための重要なツール「ふくいMaaSアプリ」の早期実装に向け、県がより主体的に動くべきと考えますが、知事の所見を伺います。

## Q\_ 笹原 修之

JR東日本は東北6県と連携し「TOHOKU MaaS」という取組を行っておりますが、福井県も北陸3県で連携して「HOKURIKU MaaS」を構築し、その中で福井県のMaaSを展開していくべきだと考えますが、県の所見を伺います。

## Q. 笹原 修之

MaaSの課題の一つに在庫管理があります。例えば宿泊 事業者が部屋の在庫管理をネット上で情報共有しているよ うに、交通関連事業者においても在庫管理とデジタルに 強い人材の育成が必要と考えますが、県の所見を伺います。

## A 地域戦略部長

地域住民向けには通院や買物など市町が中心となって整備している「ふくいMaaSアプリ」、観光客向けにはJR西日本の観光型MaaS「tabiwa」で、交通機関の予約・決済や周遊パスの購入機能など、関係者と連携しながら機能拡充に努めます。

## A知事

「ふくいMaaSアプリ」は、新幹線開通の時期に合わせて準備を進めており、県はオブザーバーですが、この「ふくいMaaS協議会」に積極的に参加し、福井県にできるだけ経済波及効果が大きくなるように努めてまいりたいと考えております。

## A 地域戦略部長

JR西日本の「tabiwa」において、経路検索やエリア内の鉄道・バス・タクシー・レンタカー等の予約及び決済機能の追加、多様な周遊パスやクーポンの拡充など、さらに利便性が高く魅力的なものとなるよう、引き続きJRに協力してまいります。

## **A** 地域戦略部長

公共交通の利便性向上のため、交通事業者や市町等の担当者を対象に、DX技術の導入に向けた新モビリティサービス検討会を開催しており、IT人材の育成確保に対する支援やDX専門家を派遣する事業も行っております。



MaaSの利便性を高めて、

ストレスの少ない福井の交通サービスを確立し、

全国に発信して頂きたいと思います。

## 者古的文化財の活用による観光誘客について

## Q\_ 笹原 修之

地域に眠る考古的・歴史的文化財こそ「福井県の宝」であり、それらを磨き上げ、観光資源として活かすことがまちづくりや地域活性化につながり、ひいては北陸新幹線開業後の誘客につながると考えますが、県の所見を伺います。

#### ☑ . 笹原 修之

芦原温泉駅東口からほど近い、縄文時代早期の「桑野遺跡」から出土した国指定重要文化財「玦状耳飾り」や「垂れ飾り」等の石製品は学術的価値が極めて高く、わが国を代表する出土品と言われ、県としても市や地元団体と連携して取組むべきと考えますが、県の所見を伺います。

## **A** 教育長

「福井県文化財保存活用大綱」を令和2年3月に策定し、市町の「文化財保存活用地域計画」の策定、及び文化財修理等への支援を行っており、文化財の公開や展示、ガイドツアーなどを通して、まちづくりや観光誘客につなげていきたいと考えております。

#### A 教育長

桑野遺跡出土品につきましては、我が国を代表する非常に貴重な出土品であり、学術的価値も極めて高いものと認識しております。県としては、市と文化庁との協議において助言等を行い、文化財保護法に基づき、より効果的な展示方法などの検討を支援してまいります。



「地域の宝」である文化財に脚光を当て、福井の「本物」を全国に発信して 頂きたいと思います。

## 第424回 定例会一般質問 4 項目 12 質問

## 持続可能な「ふくい」の創造と地域づくりについて

## Q. 笹原 修之

消滅しない都道府県ランキングで福井県は32位でした。 地域の「持続度」すなわち「消滅しない」ための4つの指標 「幸福度・生活満足度・愛着度・定住意欲度」を高め、 福井県の「持続度」を上げる必要があると考えますが、知 事の所見を伺います。

## Q. 笹原 修之

地域づくり団体の共通の課題は「事業費」と「事務局」です。地域住民による持続可能な地域運営を実現するための「集落活性化支援事業補助金」の利用状況を伺うとともに、引き続きの集落支援が必要だと考えますが、県の所見を伺います。

## Q . 笹原 修之

共助の精神によるまちづくりが「地域への愛着」を育み、 人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域運営へとつな がります。その為には、地域の区長会等も巻き込むよう な仕組みづくりが必要と考えますが、県の所見を伺います。

## A知事

子育でや教育環境などは全国トップクラス、一方でスポーツ 観戦、商店街などは順位が低く、ワクワク・ドキドキの部分 が少し欠けております。新幹線や中部縦貫道が開通する100 年に一度のチャンスを生かし、持続可能な福井県の体力をさ らにつけていきたいと考えております。

## A 地域戦略部長

集落活性化支援事業の利用状況は、今年度末までの5年間で、全ての市町の合計で延べ212事業、約2億9,000万程度活用されております。市町からは本事業の継続を要望する声が強く、継続につきましては、今後の予算編成において前向きに検討してまいります。

## A 地域戦略部長

地域の発展を志す住民の方々とその代表であります区長・自 治会長らとの連携はとても重要だと考えており、集落活性化 支援事業において、これまでに蓄積された活動の好事例を市 町と共有し、さらなる連携を促してまいりたいと考えております。



今後も地域への愛着度が高まり「幸福度」が 実感できるような政策を打っていただき、

持続可能な「ふくい |を創造して頂きたいと思います。



北潟湖管理道路の冠水被害区間

## 北潟湖を取り巻く課題について

## Q. 笹原 修之

自転車やジョギング・散歩など、市内外の幅広い年齢の 方に利用される北潟湖南周遊コース上に、休憩用のベン チやトイレを必要な場所に設置してこそ魅力的な施設にな ると考えますが、県の所見を伺います。

## (人) . 笹原 修之

北潟湖周辺は地盤沈下による波返し壁の傾斜や、護岸 道路の斜面化など、長年の環境変化によって改修工事が 必要な箇所が多数発生しております。こうした地盤の変 動に対し、県として「地盤調査」が必要であると思いますが、 県の所見を伺います。

## ₩ . 笹原 修之

北潟東区・西区の家屋連担区域の護岸整備は、昭和58年の台風被害による災害復旧以来40年余りが経ち、護岸道路も沈下により冠水するため、かさ上げ工事など沈下及び冠水の抜本的な対策が必要と考えますが、県の所見を伺います。

## A 土木部長

南周遊コースのトイレ1か所は、老朽化により今年度撤去する 予定です。ベンチ、トイレの多くが湖畔公園の周辺に設置される状況ですので、地域の方や利用者の方のご意見を伺いながら、 魅力的な施設となるよう、周辺環境の向上に努めてまいります。

## **土木部長**

北潟湖周辺の地質につきましては、地表面から15m程度の軟弱層が存在をすることを把握しております。定期的なパトロールを行いながら、軟弱地盤層に起因するような損傷を確認した際には、既存の地盤データを活用し、適宜補修等を行っております。

## A 土木部長

これまでも河川管理用道路において、度々冠水被害が発生しており、平成30年度と令和元年度に道路や湖岸堤のかさ上げを実施しております。本年8月に国道305号の北潟郵便局付近で冠水被害が発生した区間につきましては、来年度、道路のかさ上げを実施予定です。



北潟湖を取り巻く課題は山積していますが、

県民が安心・安全な生活を送れるよう、最優先に検討して頂きたいと思います。

# 笹原修之の活動報告



詳細は face bookを ご覧ください。





-フェストを視察



あわら市功労表彰・教育委員会表彰に出席



あわら市商工フェスタに出席



ホテルプライムイン福井あわら竣工祭に出席



10月

宿泊業界に対する支援を陳情







































明るい未来を目指して。

〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内) TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail:sasahara@helloprint.co.jp

